

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 1 区分
【発行日】平成23年6月2日(2011.6.2)

【公開番号】特開2009-272257(P2009-272257A)
【公開日】平成21年11月19日(2009.11.19)
【年通号数】公開・登録公報2009-046
【出願番号】特願2008-124065(P2008-124065)
【国際特許分類】

H 0 1 R 13/52 (2006.01)

【F I】

H 0 1 R 13/52 3 0 2 C

【手続補正書】

【提出日】平成23年4月15日(2011.4.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電子機器本体に設けられる接続部を覆う閉鎖位置と前記接続部を露出する開放位置とにわたって変位可能に設けられる操作カバー片と、

前記操作カバー片の表面から突出するように設けられ、前記閉鎖位置と前記開放位置とにわたって変位するように前記操作カバー片を案内する円弧形状の案内溝が形成される案内レール片と、

前記案内溝に嵌合する嵌合突起および前記案内レール片の変位を当該案内レール片の長手方向に沿って保持する保持手段を備えるカバー本体とを有することを特徴とする開閉案内機構。

【請求項 2】

前記案内レール片には、案内溝の開放方向上流側の端部に連なって、前記嵌合突起が着脱自在に嵌り込んで係止される第 1 嵌合凹所が形成されることを特徴とする請求項 1 に記載の開閉案内機構。

【請求項 3】

前記案内レール片には、案内溝の開放方向下流側の端部に連なって、前記嵌合突起が着脱自在に嵌り込んで係止される第 2 嵌合凹所が形成されることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の開閉案内機構。

【請求項 4】

前記案内レール片には、前記第 1 嵌合凹所から開放方向上流側に延び、嵌合突起の先端部が当接して案内される組込み案内溝が形成されることを特徴とする請求項 2 に記載の開閉案内機構。

【請求項 5】

前記案内レール片には、前記第 2 嵌合凹所内の底面から隆起し、第 2 嵌合凹所に嵌合した嵌合突起の先端部を支持する隆起部が形成されることを特徴とする請求項 3 に記載の開閉案内機構。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

本発明（１）は、電子機器本体に設けられる接続部を覆う閉鎖位置と前記接続部を露出する開放位置とにわたって変位可能に設けられる操作カバー片と、

前記操作カバー片の表面から突出するように設けられ、前記閉鎖位置と前記開放位置とにわたって変位するように前記操作カバー片を案内する円弧形状の案内溝が形成される案内レール片と、

前記案内溝に嵌合する嵌合突起および前記案内レール片の変位を当該案内レール片の長手方向に沿って保持する保持手段を備えるカバー本体とを有することを特徴とする開閉案内機構である。